



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン：GCC・ASEAN 閣僚会議

(6月30、7月1日付現地各紙)

6月30日付現地主要各紙は、GCC・ASEAN 閣僚会議の会議内容について報じている。1日付各紙は、6月30日のGCC・ASEAN 閣僚会議閉幕に関し、双方のパートナーシップ促進のためのビジョンに関する声明を報じている。概要は以下の通り。

【30日付報道（バハレーン主要各紙）】

1. 閣僚会議

バハレーン外務省のオムラーン2国間関係局長は、29日よりリッツカールトンホテルで開かれている第一回GCC・ASEAN 閣僚会議について以下の通り述べた。

- (1) GCC加盟国とASEAN加盟国の間で、パートナーシップを創設し、食糧安全保障問題や自由貿易地域の創設、その他の提案を行う場を設ける事が目的である。
- (2) 今回は、地域国際機関同士で会議を行う最初の試みである。自由貿易地域創設提案は最重要議題の一つである。

2. バイ会談

- (1) ハリーファ・バハレーン首相は、カシット・タイ外相と会談を行った。ハリーファ首相は、会談の中で両国間の相互訪問は、協力関係強化につながるとしてその重要性を指摘した。また、カシット外相は、ハーリド外相と会談を行った。
- (2) ハリーファ首相は、この他ボルキア・ブルネイ外相、ヨー・シンガポール外相、アギリス・フィリピン大統領中東担当特使等と会談を行った。

3. カンボジアとの外交関係樹立

6月29日、バハレーンはカンボジアと外交関係を樹立する事を決定した。ハーリド・バハレーン外相とナムホン・カンボジア副首相兼外相は、両国が相互尊重に基づき外交関係を樹立する意思があり、あらゆる分野において協力を強化していくとの共同宣言に署名した。

【7月1日付報道（バハレーン主要各紙）】

4. 「共同ビジョン」

- (1) 参加国外相は、両地域における平和と安全、及び国民の未来のためのパートナーシップ構築に向け、バハレーン王国の首都マナーマにて会合した。我々は、経済、文化、科学、

社会面における新たなパートナーシップの構築を希望する。経済パートナーシップの促進は両地域間の関係促進に資することとなり、また、両地域間の FTA 署名の可能性にもつながる。経済、貿易、投資、金融、食糧安全保障、エネルギー運輸、通信、産業、農業、環境分野の共同プロジェクトや領事分野における協力を通じ、持続的開発の実現に向け共に作業していく事に合意した。特に FTA 実現、経済・開発面の協力促進、教育・文化・報道機関分野の3点に焦点を当てた双方間の将来的関係に関する検討に合意した。

(2) 「GCC・ASEAN 共同声明」

30日、参加国外相は、双方の事務局間の覚書署名を歓迎し、効果的な協力を確保し具体的な成果を上げるため、行動計画を2年以内にまとめるよう両事務局に指示した。この計画は第二回合同閣僚会議に上程される。次回合同会議については2010年にASEANの国にて開催し、2年ごとに閣僚会議を双方持ち回りで開催し、年次会合を国連総会の際にトロイカレベルで開催する事に合意した。参加閣僚は、双方間のFTAに関する勧告を準備するよう双方の事務局に指示し、これに関する考えを次回のトロイカ会合で提示するよう指示した。参加国外相は、文明間の対話、領事関係、海賊対策、貿易・投資関係、食糧安全保障、エネルギー関係、観光・治療分野における協力の重要性等を強調した。

5. ハマド・バハレーン国王との会談

30日、ハマド・バハレーン国王はハリーファ首相、サルマン皇太子同席の下、GCC及びASEAN外相と会談し、この閣僚会議が発した共同ビジョン及び会議の成果を祝福した。

【補足情報】

2008年9月26日に、米国・ニューヨークでGCC・ASEAN外相会談が開催されている。

(中東調査会のデータベース)